

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(一覧表)

● 令和5年度に新規登録された48技術の新技術は以下のとおりです。

※ 技術名称欄よりNETIS情報が確認できます。

※ 備考欄の「概要」より技術概要が確認できます。

番号	工 種		技術名称	特徴(アピールポイント)	NETIS登録 番号	備 考
	Lvl.1	Lvl.2				
1	土工	土工	ARマシンガイダンスシステム (ARMGシステム)	バックホウのAR画像と警告音による安全確認補助機能システム	QS-230030-A	概要
2	土工	施工管理	施工計画シミュレーション「Smart Construction Simulation」	施工計画時の問題点を3D可視化および再計画立案補助システム	QS-230007-A	概要
3	土工	施工管理	高速ドローン測量システム「Smart Construction Edge2」	ドローン撮影画像を現場で高速かつ高精度に3次元データ化する装置	QS-230006-A	概要
4	土工	施工管理	重機登坂作業時の危険警告システム「登坂傾斜OKくん」	重機登坂時に危険を知らせるシステム	QS-230008-A	概要
5	共土工	排水構造物工	小口径抗菌暗渠集排水管「ウォーターロードパイプ」	細菌類等の増殖を抑制し管内閉塞の発生を未然に防止する集排水管	QS-230038-A	概要
6	共土工	軟弱地盤処理工	低振動・低騒音でかつ地盤変位の小さい液状化対策工法「TS-improver」	ICT施工と振動・騒音を低減する高周波振動機による液状化対策	QS-230045-A	概要
7	共土工	深層混合処理工	「柱状改良杭の杭芯位置誘導システム」Y-Navi	深層混合処理機の杭芯誘導、3D出来形管理可能なシステム	QS-230040-A	概要
8	共土工	構造物とりこわし工	解体工事等の粉じん抑制に用いるクリスタルWet工法	浸透剤とファインバブルによる粉じん飛散抑制	QS-230034-A	概要
9	共土工	ボックスカルバート工	新設・既設構造物取り付け部止水板「サンタックL型止水板・D-L型止水板」	変位追従の付加と構造改善により施工性が向上した止水板	QS-230019-A	概要
10	基礎工	鋼管・既製コンクリート杭打設工	杭打設管理システム「パイルウォッチ」	トータルステーションを用いた杭の打設管理システム	QS-230025-A	概要
11	基礎工	鋼管矢板基礎工	鋼管内掘削(水中掘削)オムパロス工法「A工法」	ウォータージェットによる鋼管内の掘削と洗浄の同時施工	QS-230016-A	概要
12	コンクリート工	コンクリート工	コンクリート締固め管理システム	人工知能(AI)を活用した画像解析技術による締固め管理システム	QS-230031-A	概要
13	コンクリート工	施工管理	簡易型表面吸水量試験機「PORO SIT」	コンクリート含浸材の性能を非破壊で簡易に検査できる装置	QS-230005-A	概要
14	仮設工	仮設材設置撤去工	サイウォール(消音仮設壁)	工事騒音(空気伝播音)を約30dB低減できる消音仮設壁	QS-230021-A	概要
15	仮設工	その他	工事看板や保安用品等に用いるバイオマスシート	生物由来でバイオマスマークを取得した環境に配慮したシート	QS-230026-A	概要
16	仮設工	その他	目隠し工用強化型親子バンド「T-Band」	ガードレールの目隠しシート設置用の単管パイプへの取り付け金具	QS-230044-A	概要
17	河川海岸	多自然型護岸工	二次製品小口止ブロック「小口ブロックZ(ゼット)」	コンクリートブロック積みに用いるプレキャスト小口止ブロック	QS-230003-A	概要
18	河川維持	堤防除草工	集草用プレートまもる君	法面や構造物に傷を与えずバックホウで集草出来る器具	QS-230041-A	概要

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(一覧表)

● 令和5年度に新規登録された48技術の新技術は以下のとおりです。

※ 技術名称欄よりNETIS情報が確認できます。

※ 備考欄の「概要」より技術概要が確認できます。

番号	工 種		技術名称	特徴(アピールポイント)	NETIS登録 番号	備 考
	Lvl.1	Lvl.2				
19	舗装工	路盤工	再生砕石「OK砕石」	産業廃棄物の「ばいじん」と「微砂」を主原料とした再生砕石	QS-230027-A	概要
20	舗装工	コンクリート舗装工	電気炉酸化スラグを用いた透水性舗装「ばどれすロード舗装」	環境に配慮したコンクリート舗装	QS-230009-A	概要
21	舗装工	ブロック舗装	国産環境型レンガ「BYブリック」	バイオマス発電の副産物を使用した保水透水性舗装用レンガ	QS-230020-A	概要
22	付属施設	道路付属物工	蓄光アクリルシーラント(RX-A)	蓄光顔料をアクリル・シリコンに配合した蓄光材	QS-230010-A	概要
23	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」	浸透タイプのひび割れ補修工	QS-230015-A	概要
24	道路維持修繕工	道路除草工	防草・地被植物活着促進シート「べた〜とシート」	防草機能と地被植物活着促進機能を合わせ持つ長期防草シート	QS-230001-A	概要
25	道路維持修繕工	路面補修工	常温合材「TRミックスアクア」	水で固める全天候型高耐久性常温アスファルト混合物	QS-230036-A	概要
26	トンネル工	トンネル工(NATM)	多分割トラス構造鉄筋支保工「MSラチスガーダー」	防水シートに穴を開けずに段取筋を設置できる	QS-230002-A	概要
27	トンネル工	施工管理	トンネル地表面管理システム「Point Shot」	トンネル工事に伴う地表面変位の自動監視	QS-230012-A	概要
28	橋梁上部工	施工管理	上部工出来形管理システム「Bridge Scanner」	橋梁上部工の3Dスキャナ計測と点群解析によるICT出来形管理システム	QS-230035-A	概要
29	橋梁上部工	施工管理	リアルタイム位置追跡システム「Real-1」	橋梁架設時の位置情報をリアルタイムにモニタリングするシステム	QS-230023-A	概要
30	橋梁上部工	その他	GFRP(VI成形)ボックス桁橋	VI成形と接着接合を利用し、軽量化を実現したGFRP橋梁	QS-230013-A	概要
31	公園	公園除草工	ツインブレード式乗用雑草刈機「ラビットモアー-RMT110」	ツインブレード式刈取機構	QS-230033-A	概要
32	機械設備	水門設備	ユニット式フラップゲート	無動力バランスウエイト付自由振動ゲート	QS-230048-A	概要
33	機械設備	機械点検・整備	電流を用いた回転機械の監視・診断システム「T-MCMA®」	トンネル換気設備などの異常を常時監視・診断することができるシステム	QS-230028-A	概要
34	環境対策工	廃棄処理場	廃棄物最終処分場の覆土代替材「HR」	処分場覆土の施工を効率化	QS-230022-A	概要
35	調査試験	測量	クラウド型変位計測システム「Eagle Eye」	GNSSを用いた高精度位置変位計測システム	QS-230011-A	概要
36	調査試験	地質調査	場所打ち杭の先端支持力を測定「Rebec」	場所打ち杭掘削底面の地盤強度を定量的に評価する施工管理技術	QS-230043-A	概要

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(一覧表)

● 令和5年度に新規登録された48技術の新技術は以下のとおりです。

※ 技術名称欄よりNETIS情報が確認できます。 ※ 備考欄の「概要」より技術概要が確認できます。

番号	工 種		技術名称	特徴(アピールポイント)	NETIS登録 番号	備 考
	Lvl.1	Lvl.2				
37	調査試験	地質調査	地すべり等の地盤変状調査に用いる「地盤軸ひずみ計」	地盤変状時に軸ひずみから軸力又は変位量を求めるひずみ計	QS-230047-A	概要
38	調査試験	構造物調査	CRVICE(クレビス)鋼管柱き裂点検システム	非破壊型の検査方法を採用した小型・軽量の鋼管柱き裂点検システム	QS-230018-A	概要
39	調査試験	構造物調査	トンネル全断面自動点検システム「TOREL(アイトーレル)」	トンネル覆工コンクリートの健全度判定の効率化をはかる技術	QS-230037-A	概要
40	調査試験	分析・予測システム	CCTVカメラや市販カメラを活用したAI交通量調査サービス「センサスAI」	車両など道路交通量調査の観測区分に対応し、観測の省力化が可能	QS-230042-A	概要
41	ITS関連技術	安全運転の支援	工事車両安全運行支援・運行管理システム「D-safety」	工事用車両の運行管理の円滑化や安全運行を支援するシステム	QS-230017-A	概要
42	電気通信設備	電気設備	定置型オフグリッド電源システム「リブプロ発電システム」	停電時の事業継続を確実にする電力システム	QS-230014-A	概要
43	電気通信設備	電気設備	取付部一体型アルミ製LEDトンネル照明灯具	省施工・低コストで環境配慮型LEDトンネル照明灯具	QS-230004-A	概要
44	電気通信設備	電子応用設備	双方向音声通信搭載監視ネットワークカメラシステム(しじかめ君)	リアルタイムに現場の映像を配信できるネットワークカメラ	QS-230024-A	概要
45	電気通信設備	その他	鋼管製接地極杭「getA工法」	断面性能の優れた接地極杭を用いて、地中深くへ確実に打設する工法	QS-230046-A	概要
46	その他	その他	建設現場の安全管理補助システム「KYデジタル」	KY活動および記録等のデジタル化による安全管理補助システム	QS-230029-A	概要
47	その他	その他	燃料運搬容器「mobiFITT. mobiMASTER」	オートストップガンを搭載した注油機能付き燃料運搬容器	QS-230032-A	概要
48	その他	その他	仮設道路計画アプリケーション「道路プランくん3D」	3次元の仮設道路設計ができるアプリケーションソフト	QS-230039-A	概要

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

1

ARマシンガイダンスシステム(ARMGシステム)

QS-230030-A

本技術は、バックホウ操縦時の安全確認に関する補助技術であり、従来は目視で対応していた。本技術の活用により、バケットと支障物との接近をAR画像と警告音によってオペレータに警報することが可能となるため、作業負担の軽減が図れる。



2

施工計画シミュレーション「Smart Construction Simulation」

QS-230007-A

本技術は、土工施工管理技術である。施工計画時の問題点を3Dモデル化＋最適な再計画立案を補助するシステムで、従来は、現場管理者による施工計画立案で対応していた。本技術の活用により、施工計画業務の省力化および生産性の向上が可能となる。



3

高速ドローン測量システム「Smart Construction Edge2」

QS-230006-A

本技術は、ドローン測量技術である。ドローン撮影画像をGCP(標定点)を設置することなく現場で高速かつ高精度に3次元データ化する装置で、従来は、GCPを利用したドローン測量で対応していた。本技術により、自動化や高速化を図れるため、施工性、経済性が向上する。



4

重機登坂作業時の危険警告システム「登坂傾斜OKくん」

QS-230008-A

本技術は安全管理に関する技術である。車両系建設機械(バックホウ)の登坂作業については、従来、安全監視員による目視確認としていたが、本技術では登坂能力オーバーに対し「LED光源」と「アラーム音」により警告を行うことで、安全意識の向上を図る技術である。

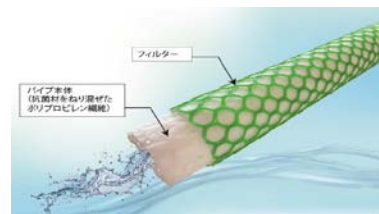


5

小口径抗菌暗渠集排水管「ウォーターロードパイプ」

QS-230038-A

本技術は、抗菌剤を練り混ぜたポリプロピレン繊維を立体網目構造の管に成形した集排水管である。従来はVP有孔管、VP保孔管で対応していたが、本技術の活用により、酸化鉄細菌や藻類の発生を抑えることが可能となり、管内閉塞による集排水能力の低下を未然に防止できる。



6

低振動・低騒音でかつ地盤変位の小さい液状化対策工法「TS-improver」

QS-230045-A

本技術はSCP工法と同様な締固め系液状化対策工法である。従来はSCP工法＋水平変位対策にて対応していた。締固め効果が高く、低振動・低騒音かつ地盤変位の少ない新技術の活用により工期短縮・周辺環境に配慮した施工が可能となる。ICT技術により施工性・安全性が向上する。



7

「柱状改良杭の杭芯位置誘導システム」Y-Navi

QS-230040-A

本技術は地盤改良工(深層混合処理)に関する技術である。ICTによる地盤改良を可能とするシステムで、GNSSを用いたマシンガイダンスにより、測量や誘導員による施工機の誘導を省力化できる。また、出来形帳票を自動で作成可能のため業務の省力化が期待できる。



8

解体工事等の粉じん抑制に用いるクリスタルWet工法

QS-230034-A

本技術は構造物取壊しやトンネル掘削で発生する粉じん飛散を抑制する技術である。浸透剤の水の表面張力低下とファインバブルの濡れ性(付着)向上によって飛散抑制が期待できる。従来は散水で対応していた。本技術の活用により作業環境の改善や周辺環境への影響抑制が図れる。

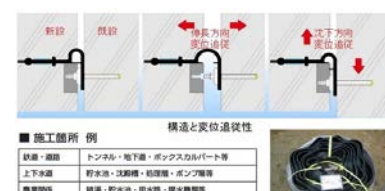


9

新設・既設構造物取り合い部止水板「サンタックL型止水板・D-L型止水板」

QS-230019-A

本技術は、コンクリート構造物の止水板技術である。新設・既設構造物取り合い部において変位追従性を付加した止水板で、従来は、増打ち＋塩化ビニル止水板で対応していた。本技術の活用により、確実な止水および省力化が可能となる。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

10

杭打設管理システム「パイルウォッチ」

QS-230025-A

本技術は、杭打設管理技術である。トータルステーションの自動追尾機能やノンプリズム機能を活用した杭打設管理システムで、従来は、トランシットや下げ振りをを用いた人的測量で対応していた。本技術の活用により、リアルタイム管理が可能となるため、施工管理が効率化できる。



11

鋼管内掘削(水中掘削) オムパロス工法「A工法」

QS-230016-A

本技術は鋼管矢板基礎工に関する技術である。水中で鋼管内の掘削・洗浄をウォータージェットで行い、同時に特殊サンドポンプで排土(排泥)する施工法である。従来はハンマーグラブで施工していた。本工法の活用により工期の短縮が期待できる。



12

コンクリート締固め管理システム

QS-230031-A

本技術はコンクリートの締固め管理に関する技術である。従来の締固め管理は監督者の目視による定性的な確認に留まっていた。本技術により、作業員のウェアラブルカメラ画像から締固め箇所を定量的に把握、再振動が可能となる等、確実な品質確保への貢献が期待できる。

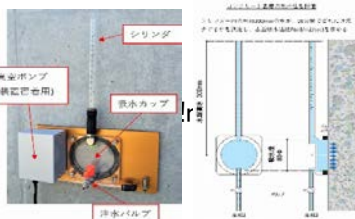


13

簡易型表面吸水量試験機「POROSIT」

QS-230005-A

本技術はコンクリート表面に塗布した含浸材の性能を確認する簡易的な非破壊試験技術である。性能は表面吸水量試験機により検査しその場で良否を確認できる。本技術の活用により表面含浸材の性能効果を容易に測定できるため試験の省力化および経済性の向上が図られる。



14

サイウォール(消音仮設壁)

QS-230021-A

本技術は、屋内の工事騒音をユニット化した仮設壁で低減する製品で、従来は軽量鉄骨下地材+化粧石膏ボードにより仮設壁を設置している。本製品は、加工が不要で設置も容易であるため、施工性の向上及び周辺環境への影響抑制が期待される製品である。



15

工事看板や保安用品等に用いるバイオマスシート

QS-230026-A

本技術は仮設工に関する技術である。工事看板類の表示素材に、環境に配慮した生物由来の資源で作られたバイオマスシート取得のシートを使用することにより、温室効果ガスの削減につながる技術である。

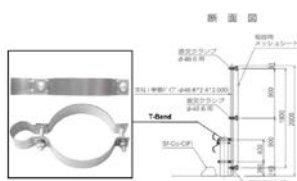


16

目隠し工用強化型親子バンド「T-Band」

QS-230044-A

ガードレールに目隠しシートを設置するための骨組み(単管パイプ)への取り付け金具であり、風荷重を考慮した必要耐力を算出、実証実験を実施し、補強した製品である。製品の引張強度が向上し、強風などによる目隠し工の破損リスクを低減できる。

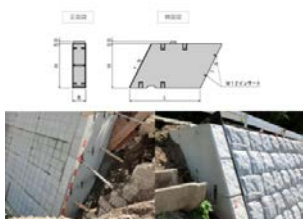


17

二次製品小口止ブロック「小口ブロックZ(ゼット)」

QS-230003-A

本技術はコンクリートブロック積工の小口止工に関する技術である。従来、現場打ちであった小口止工を二次製品化したことにより、型枠組立・解体、コンクリート打設、養生が不要となるため、省人化、省力化と工期短縮が可能となる。



18

集草用プレートまもる君

QS-230041-A

本技術は除草工における集草作業に使用する器具である。従来品の鉄製のものに比べ集草作業時に法面や構造物を傷つけることなく接触面を気にせず作業できるため、重機作業が容易で日当たり施工量が増加する。また、刈草の取り残しも少ない。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

19

再生砕石「OK砕石」

QS-230027-A

本技術は路盤工に関する技術である。産業廃棄物の「ばいじん」と「微砂」を主原料とした再生砕石である。従来の再生クラッシュと比較して、材料単価が安く、廃棄物をリサイクルすることで環境負荷の軽減に貢献できる。

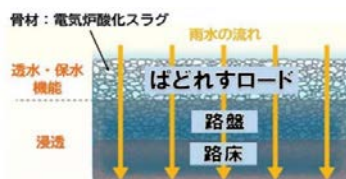


20

電気炉酸化スラグを用いた透水性舗装「ばどれすロード舗装」

QS-230009-A

本技術は、透水性舗装工に関する技術である。従来技術は骨材に天然資源の砕石を使用していた。本技術は電気炉酸化スラグを骨材として利用した透水性コンクリート舗装であり、環境負荷低減(副産物の再利用・路面温度抑制)が図れる。

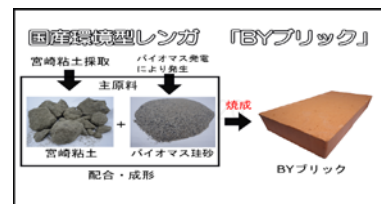


21

国産環境型レンガ「BYブリック」

QS-230020-A

本技術は、インターロッキングブロック工に関する技術である。従来は、インターロッキングブロックに対応していた。バイオマス珪砂を再利用し製造した環境に配慮したレンガブロックで、色褪せがなく長期間の使用が可能であり、十分な強度を保つことができる。

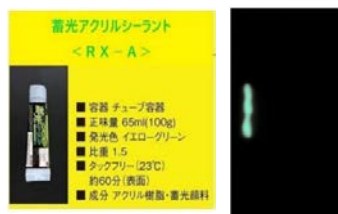


22

蓄光アクリルシーラント(RX-A)

QS-230010-A

道路付属物工の視線誘導表示に関する技術である。蓄光顔料をアクリル・シリコーンに配合した耐候・耐水・耐熱性に優れた蓄光材である。従来のトラテープと比較して、自発光する性能を有しているため、光のない夜間の視認性が向上し、安全が確保できる。



23

浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」

QS-230015-A

本技術はコンクリート工のひび割れ補修に関する技術である。従来は低圧注入工法で対応していたが、本技術の活用により、注入に係る作業が削減され、ローラや刷毛による塗布浸透作業のみとなることで施工性の向上や工程短縮が可能にした。



24

防草・地被植物活着促進シート「べた〜とシート」

QS-230001-A

本技術は防草工等に寄与する技術である。防草効果と地被植物の節根がシートを貫通し直接養分吸収するという相反する効果を備えたシートであり、景観に配慮しつつ、草刈り管理コストの低減が期待できる。



25

常温合材「TRミックスアクア」

QS-230036-A

本技術は、舗装面の欠損部補修工に関する技術である。従来はカットバック系の常温アスファルト混合物を使用していたが、TRミックスアクアは、雨天時や水たまりがあっても施工が可能で、強度発現が早くかつ耐久性に優れた、袋詰め常温アスファルト混合物である。



26

多分割トラス構造鉄筋支保工「MSラチスガーダー」

QS-230002-A

本技術は、トンネル工事における覆工コンクリートの補強鉄筋施工に関する技術である。従来は貫通型吊鉄筋金具にて段取筋用の鉄筋を設置していたが、本技術の活用により防水シートに穴を開けることなく段取筋の設置が可能であるため、防水性を損なうリスクが低減できる。



27

トンネル地表面管理システム「Point Shot」

QS-230012-A

本技術はトンネル工事における地表面の沈下を計測する技術である。自動追尾式TSを用いた自動計測と、その他計測機器をクラウドで統合管理するシステムで、従来は人的管理で対応していた。自動計測および統合管理による省人化、設定値越えの警報発報により安全性が向上する。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

28

上部工出来形管理システム「Bridge Scanner」

QS-230035-A

本技術は、橋梁上部工出来形管理において、3Dスキャナを用いた出来形管理システムである。従来は、現場管理者による計測および出来形管理資料の作成で対応していたが、本技術の活用により、出来ばえ評価によるICT出来形管理が可能となるため、出来形管理成果品の品質が向上する。



29

リアルタイム位置追跡システム「Real-1」

QS-230023-A

本技術は橋梁架設の安全管理に関する技術である。GNSSを利用したRTK測位により位置情報をリアルタイムにモニタリングするシステムで、従来はトータルステーションによる計測だった。本技術の活用で、橋梁架設時の移動状況を見える化できるため、事故の危険性が減少する。



30

GFRP(VI成形)ボックス桁橋

QS-230013-A

本技術は歩道橋に関する技術である。VI成形によって製造されたGFRP部材を接着接合してボックス桁とし、歩道橋に用いるもので、従来は鋼橋やコンクリート橋で対応していた。従来技術に比べて軽量化を実現し、それによって基礎負担の軽減や施工性の向上が可能となった。



31

ツインブレード式乗用雑草刈機「ラビットモアー RMT110」

QS-230033-A

本技術は公園・堤防・道路の除草工に関する技術である。ツインブレード式(内回転)の刈取機構を用い、従来のシングルブレード式(右回転)と比較して、飛び石等の飛散が軽減・刈幅が広がったことにより、日当り施工量が増加し経済性の向上及び工程の短縮が期待できる。



32

ユニット式フラップゲート

QS-230048-A

本技術は水門設備に関する技術である。樋門樋管のゲートにおいて、ゲートを内蔵したプレキャストボックスカルバート一体型のゲートで、従来は外付けのフラップゲートで対応していた。現場施工に於いてゲート設備の設置を省略できるため工程の短縮および施工性が向上する。

ゲートとプレキャストボックスカルバートを工場一体化！
【ユニット式フラップゲート】



33

電流を用いた回転機械の監視・診断システム「T-MCMA®」

QS-230028-A

本技術はトンネル換気設備等の点検に関する技術である。ジェットファンなどの回転機械の状態を電流情報量解析により監視・診断する技術で、従来は設置現場で計測作業をしていたが、本技術の活用により電気室で電流を計測・解析することで、遠隔で機器状態を監視・診断できる。

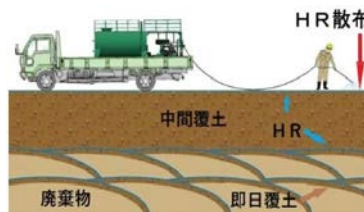


34

廃棄物最終処分場の覆土代替材「HR」

QS-230022-A

本技術は、廃棄物最終処分場の覆土に関する技術である。従来は、覆土のみを行っていた。本技術の活用により、廃棄物安定化のための浸透水が適量に調整され、覆土を減らしても同程度の臭気抑制が可能となり、覆土作業の省力化、粉塵抑制による近隣地域への環境改善が図れる。



35

クラウド型変位計測システム「Eagle Eye」

QS-230011-A

本技術は、変位計測に関する技術である。GNSSにより挙動をミリ単位で24時間遠隔監視できる自動変位計測システムで、従来は、TSIによる人的測量で対応していた。本技術の活用により、高精度遠隔監視が可能となるため、経済性、施工性が向上する。



36

場所打ち杭の先端支持力を測定「Rebec」

QS-230043-A

本技術は場所打ち杭工の品質管理に関する技術である。従来は事前に行った土質調査試料のサンプルと掘削土の目視比較により支持層到達確認が行われていた。本技術は掘削底面の地盤強度を定量的に測定することができ、熟練工に依存せずとも容易に支持層判断が可能である。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

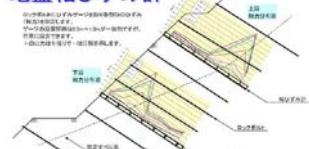
37

地すべり等の地盤変状調査に用いる「地盤軸ひずみ計」

QS-230047-A

本技術は、地すべり調査に関する技術である。地すべりや変状が想定される法面や地盤に、地盤軸ひずみ計を設置して、深度約20m程度までの地中の変状を計測・監視できるもので、地すべりの深度に加え、その部分に掛かる荷重や変位量を数値で表すことができる。

地盤軸ひずみ計



38

CRVICE(クレビス)鋼管柱き裂点検システム

QS-230018-A

本技術は、非破壊調査技術である。標識や照明の鋼管柱き裂点検において、小型軽量で塗膜除去が不要な非破壊型点検システムで、従来は、目視による点検で対応していた。本技術の活用により、近接目視では見逃す可能性がある小さなき裂を検出できるため、予防保全に寄与する。



39

トンネル全断面自動点検システム iTOREL(アイトーレル)

QS-230037-A

道路トンネルの定期点検に関する技術である。従来人力で行っていたトンネル覆工コンクリートの変状探査を自動で行い、トンネル点検の省力化が可能である。点検者の熟練技能に依存しない作業が可能で、収集したデータは変状展開図等の点検調書作成に活用可能である。



40

CCTVカメラや市販カメラを活用したAI交通量調査サービス「センサスAI」

QS-230042-A

本技術は、道路交通量調査に関する技術である。ビデオカメラで撮影した映像を用いてのAI解析による道路交通量調査であることから、調査員によるカウンターを使用した調査及び報告書の作成が不要となるため、調査員の削減より経済性と施工性が向上し、作業日数が短縮する。

センサスAIの特徴	
どのカメラでも対応可 (カメラ性能や解像度に応じて異なります)	計測精度 車両計測で日中・夕方・夜間 それぞれで99%以上、人混計測では98%
高いロバスト性 撮影場所の変化を受けにくいモデル設計 (撮影場所や角度や距離にかかわらず)	検出区分 交通センサス区分(経分)に対応。人の場合、性別や服装の検出も可能
国内サーバー 解析結果を行う環境は国内に存在しており 解析後、速やかに閲覧します	ISO27001 国際規格に準拠した情報セキュリティ管理システムを保有

41

工事車両安全運行支援・運行管理システム「D-safety」

QS-230017-A

本技術は工事車両の運行管理を支援するものである。リアルタイムでの経路把握や注意喚起ならびに帳票自動作成等が可能であり、従来は運転手の主観により手動で作成された日報に基づいた車両運行管理で対応していた。本技術により安全性や施工性等の向上が期待できる。



42

定置型オフグリッド電源システム「リブグロ発電システム」

QS-230014-A

本技術は、災害時の非常用電源に関する技術である。従来は、ディーゼル式発電機で対応していた。本技術は、蓄電池とガス発電機の組み合わせにより無瞬断で安定した電力供給が可能となるため、事業の継続に支障がない。また、ガス発電機は自動メンテナンス機能を備えている。



43

取付部一体型アルミ製LEDトンネル照明灯具

QS-230004-A

本技術はトンネル照明設備の技術である。本技術の活用により、光学性能の向上による広スパン化(設置数量削減)、高効率化照明の実現によるCO2削減及び取付部一体化による施工性の向上、設置工程の短縮が図れる。



44

双方向音声通信搭載監視ネットワークカメラシステム(しじかめ君)

QS-230024-A

本技術は現場管理に関する技術である。インターネット回線を利用し、専用アプリでパソコンやスマートフォンからリアルタイムに現場の映像を確認、音声発報による指示・警告が可能で警戒エリア設定により車両・人物をAI検知可能な現場管理カメラシステム。

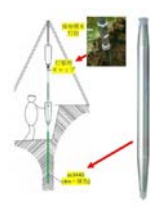


45

鋼管製接地極杭「getA工法」

QS-230046-A

本技術は、接地極設置工事に関する技術である。従来は、連結が必要なアース棒による接地極で対応していた。本技術は、連結の必要ない打設により、地中深層部への確実な接地極打設が容易となる。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

46

建設現場の安全管理補助システム「KYデジタル」

QS-230029-A

本技術は建設現場の安全管理に関する技術である。従来のホワイトボードや紙を用いたKY活動及び実施記録をデジタル化しKY活動に関する業務効率を改善できる。また、ARマンガで新規入場者や外国人労働者などにもわかりやすく安全啓蒙ができる安全管理補助システムである。



47

燃料運搬容器「mobiFITT, mobiMASTER」

QS-230032-A

本技術は、注油機能および自動停止機能付き燃料運搬容器である。従来はドラム缶に収容した燃料をドラムポンプを用いて注油していたが、本技術の電動ポンプによる注油機能および自動注油停止機能により、注油作業の省力化が可能となり、施工性の向上が期待される。



48

仮設道路計画アプリケーション「道路プランくん3D」

QS-230039-A

土工事における仮設工事用道路を計画する技術である。3次元計画道路の描画や土工数量の計算ができるシステムを使用した計画であり、図面や数量計算等の作成作業が省力化できるため、作業の効率化により業務日数の短縮および経済性が向上する。

